

体制構築のための
17項目チェックリスト付き!

インバウンド患者 受入れ体制 構築ガイド





Index

1

導入編

- ・ 医療機関が得られる3つのメリット
- ・ なぜ今インバウンド受け入れ?
- ・ 医療機関がつまずく3つの壁

2

実践編

- ・ 体制構築のための17項目チェックリスト
- ・ 導入プロセス(スケジュール)
- ・ AJSが提供できる集客ルート

3

実績編

- ・ 医療機関提携実績
- ・ ケース紹介(導入例)

4

相談編

- ・ 代表紹介
- ・ 料金・支援範囲
- ・ 無料相談案内

1 導入編

医療機関が得られる3つのメリット

インバウンド受入れは「負担が増える」のではなく
「今ある診療体制を活かして収益を高める」取り組みです。

訪日外国人患者の受入れは、
医療機関にとって新たな成長機会となります。



自費医療収益の増加

健診・検査・自由診療など、保険外診療ニーズが高い患者が来院します。
1回あたりの単価が高く、医院にとって安定した収益源となります。

外国人患者は予防医療や美容医療への関心が高く、
継続的な来院も期待できます。



空き枠・アイドルタイムの有効活用

一般外来のピーク時間を避け、午後や早朝の空き枠を効率的に活かします。
既存の患者様への影響を最小限に抑えながら、稼働率を向上させることができます。



地域で先行者利益を獲得

インバウンド医療はまだ参入が少なく、地域での差別化が可能です。
早期に体制を整えることで、外国人患者からの信頼とブランド力を構築できます。

1 導入編

なぜ今インバウンド医療受け入れ対応をはじめべきなのか？

医療機関にとって「患者が自然と集まる環境」が整いつつあります。



訪日外国人の急増

年間3,000万人規模まで回復し
今後さらなる増加が見込まれます。



医療ニーズの拡大

在留外国人の医療ニーズも増加し続けており
安定した患者層として期待できます。



受入れ先不足

インバウンド対応病院はまだ限られ
受入れ先不足が顕著な状況です。

日本のインバウンド市場は急速に回復し、医療ツーリズムへの関心も高まっています。
万博の開催が終わった現在も、訪日外国人数は増加を続けており、
2030年には大阪IRも予定されています。

インバウンド受入れ体制の構築は今後、
医療機関にとってスタンダードになることが予想されます。

1 導入編

医療機関がつまずく3つの壁



コミュニケーションや 言語対応への不安

外国語対応や文化的な
違いへの懸念が
受入れをためらう最大の
要因となっています。

価格設定や同意書など 事務手続きの用意

自由診療の価格設定、
多言語の同意書作成、
決済システムの導入など
準備すべき事項が
多岐にわたることへの懸念

集客ルートの確保

ホームページ・SNSでの
多言語発信や、
外国人患者への
リーチ方法に悩む
医院が多数です。

院内でこれらの準備が必要・・・だと思いませんか？

実は、**院内で準備するものはそれほど多くはありません。**

AJSは、受け入れ体制をワンストップで構築します。

**訪日外国人が受診を希望するのは、
外国人スタッフのいる大病院だけではありません。**

外国人患者が医療機関を選ぶ際に重視しているのは、規模の大きさではなく、

- ・安心して受診できること
 - ・分かりやすい説明があること
 - ・信頼できる医療体制があること
- です。

地域に根ざした医療機関であっても、適切な体制を整えることで
十分にインバウンド患者の受入れが可能です。

2 実践編

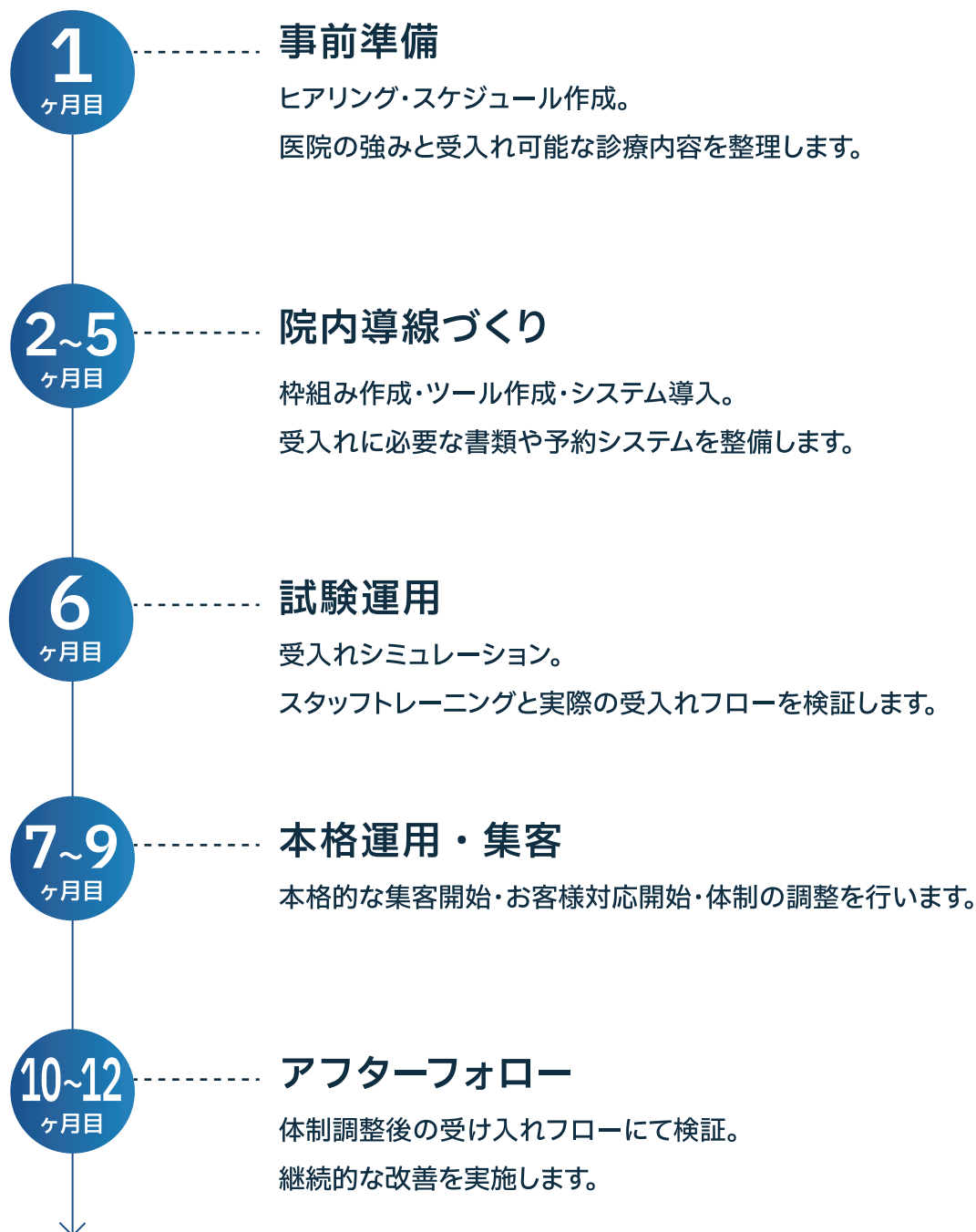
体制構築のための17項目チェックリスト

	やることリスト
受入れ準備	☐ 1. インバウンド治療メニューの決定
	☐ 2. インバウンド治療価格の決定
	☐ 3. お支払いの流れを決定
	☐ 4. 決済システム要否の確認、導入
	☐ 5. 予約方法の決定
	☐ 6. オンライン事前診療の実施要否を決定
	☐ 7. オンライン事前診療費用の決定
	☐ 8. オンライン事前問診票の作成
	☐ 9. 治療メニューごとビザ種類確認
	☐ 10. 治療メニューごと来院フロー作成
来院対応 (当日フロー)	☐ 11. 来院時間診票の作成
	☐ 12. 来院当日の留意事項決定
	☐ 13. キャンセルフィーの決定
	☐ 14. 当日の治療追加や商品購入など 支払い発生時の対応決定
アフターフォロー	☐ 15. 治療後、副作用等問合せ時のフロー決定
	☐ 16. 帰国後、オンラインフォロー要否の決定
	☐ 17. 飛び込み来院、直接予約時の対応決定

2 実践編

導入プロセス(スケジュール)

最短3ヶ月、通常12ヶ月で受入れ体制が構築可能です。
医療機関様のご状況に応じて、柔軟にスケジュールを調整いたします。



2 実践編

AJSが提供できる集客ルート

AJSは独自のネットワークと現地パートナーを有しており、以下のルートから患者紹介のサポートを行います。

医療機関が自ら集客活動を行う負担を軽減し、私たちの確立されたネットワークを通じて、安定的に患者をご紹介いたします。



既存の外国人患者様からのご紹介

中国・台湾・インドネシアなど、実績のある患者様からの信頼に基づく紹介ネットワーク



関連会社(不動産事業)を通じた顧客紹介

在日外国人向け不動産事業での接点を活かした、継続的な患者紹介を支援するルート



国内提携旅行会社からの医療機関紹介

医療ツーリズムを扱う旅行会社との提携による、訪日外国人へのアプローチをサポート



在日外国人コミュニティからの集客

各国コミュニティとの信頼関係に基づく、口コミによる患者紹介をサポートします



提携企業からの紹介

不動産会社・アパレル会社・卸業者等、多様な業種との提携による幅広い紹介ネットワーク

3 実績編

医療機関提携実績

これまでに**45医療機関**との提携実績を積み重ねてまいりました。

都市部・地方を問わず、様々な診療科での
インバウンド患者受け入れ体制の導入が進んでいます。

医療機関様からの主な声



「新しい収益源として期待できる」
「地域で先行者になれた」

「空き時間の有効活用ができています」
「想像以上にスムーズに運用できた」



対応診療科の例

内科 / 産婦人科 / 皮膚科 / 美容外科 / 泌尿器科 / 整形外科

その他、様々な診療科での導入実績がございます。

3 実績編

ケース紹介

Aクリニック（都内・内科）

準備期間：3ヶ月

対応メニュー：美容外科・内服、再生医療

集客ルート：当社提携の在日外国人コミュニティからの紹介

結果：

月5～10名の受入れを継続し、空き枠の有効活用に成功しています。

午後の空き時間を中心に外国人患者を受け入れることで、

既存患者への影響なく収益を確保できています。

スタッフからも「思っていたより負担が少ない」との

声をいただいております、今後さらにメニューを拡充する予定です。

※この事例は一例です。医療機関の規模や診療科、地域特性に応じて、最適な受入れ体制をご提案いたします。

4 相談編

代表紹介



代表 藤井 純子

自己紹介

現在、医療ツーリズム事業と不動産事業の2社を運営しております。
元医療従事者で、大学卒業後は臨床検査技師・臨床工学技士として
約12年半、病院勤務をしておりました。

その後、医薬品・医療機器の開発支援(治験)、
医療機器メーカーの薬事・安全管理部門で 医薬品と医療機器の
薬事承認～市販後安全管理に関わる業務に従事してまいりました。

保有資格

臨床検査技師、臨床工学技士

医療従事者としての経験を軸に医院様の負担を減らし、
最短ルートで受入れ体制構築を支援します。

4 相談編

支援範囲

料金は医院規模・診療科により調整いたします。
まずは無料相談にて、貴院の状況をお聞かせください。

受入れメニュー構築

診療科の特性や対応可能範囲を踏まえ
医療機関様に適したインバウンド患者
向けメニューをご提案します。

書類作成(多言語)

同意書・問診票・案内文書など、
受入れに必要な書類を多言語で
作成します。

院内フロー整備

予約から来院、会計までの流れを整理し、
実務に即した受入れフローを設計します。

院内対応サポート

外国人患者受入れに必要な対応について
院内での共有・確認がスムーズに
進むようサポートします。

集客ルート提供

確立されたネットワークを通じて、
継続的な患者紹介につながる
ルートの構築を支援します。

トラブル対応サポート

万が一のトラブル時にも、
迅速に対応できる体制づくりを
サポートします。

詳細は無料相談で医院様に合わせてご説明いたします。

4 相談編

まずは無料相談でヒアリングさせてください

インバウンド患者の受入れは、決して難しいものではありません。
適切な準備と支援体制があれば、医療機関の新たな成長機会となります。

LINEでのお申し込み

以下のQRコードより公式アカウントご登録の上
貴院名とお名前をメッセージでお送りください。



お電話でのお申し込み

以下の番号におかけいただき
「インバウンド患者受け入れの相談」とお伝えください。

090-6837-9799

(担当者直通)

メールでのお申し込み

以下のメールアドレスにメッセージをお待ちしております。

info@acejapan-solutions.com